

11月だというのに積雪した地方もあり冬支度も急がれますが、試験勉強は長丁場、たまには息抜きも必要です。展覧会に出かけたり、いい音楽を聴いたりしてみませんか？人間の美しい営みはきっとあなたの心を豊かにし、明日への希望と活力を与えてくれることでしょう。

今回は福祉の世界で優れた業績を残した人たちに関する問題です。「人物と業績」は「相談援助の基盤と専門職」、「地域福祉」、「現代社会と福祉」「児童」「障害」など、多くの科目で問われます。

【問題9：(26回138 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度)】

児童福祉の歴史に関して正しいものを1つ選べ。

- 1 高木憲次は、愛知県北西部から岐阜県下にかけて被害をもたらした濃尾大震災の孤児を救済するために、光明学校を設立した。
- 2 留岡幸助は、少年教護法の制定後、非行少年の教護事業を目的とした家庭学校を東京巢鴨に設立した。
- 3 石井亮一は、アメリカの発達保障の理論を持ち帰り、近江学園を設立した。
- 4 山室軍平は、イギリスのバーナードが立てたビレッジホームを模した小舎制のキングスレー館を設立した。
- 5 野口幽香は、貧困家庭の子ども等、不幸な境遇にある子女に対して幼児教育を行うため、二葉幼稚園を設立した。

正解と解説は最後に記載しています。

■Plus Column

【その生き様に答えあり】

国家試験に登場する人物はさほど多くはないものの、全部覚えるのは大変そう—でも大丈夫！本来ならば自伝や評伝を読むことをお勧めしたいところですが、試験対策としては、インターネットを使って人物像を探るだけでも、十分に知識量は増やせます。

当協会の初代会長石井亮一のごことは「受講の手引き」等でもたびたびお伝えしていますね。日本で最初の知的障害児施設滝乃川学園の創始者、渡米してサガンの治療教育を学んだといったことよりも、「妻筆子は8歳年上、障害ある子の母だった。鹿鳴館で踊っていたことがある」などのことの方が強く記憶に残っていませんか？

人への興味はつきません。人にまつわるエピソードは記憶に残りやすく、そのような記憶の特性を活用して学習すると効率的です。人々の生き様こそが時代を作ってきたことがわかり、試験勉強も無味乾燥なものではありません。

明治期に福祉の道を切り開いた「岡山四聖人」といわれる人たちがいます。岡山孤児院を創設した石井十次、岡山博愛会でセツルメント活動を行なった宣教師アダムスに加えて、東京神田にセツルメントハウス、キングズレー館を建てた片山潜、救世軍の活動で廃娼運動に貢献した山室軍平が岡山県出身で、岡山市内には四人の業績を讃える石碑が建っています。

因みに石井亮一と石井十次は同時代ですが、亮一は佐賀県、十次は岡山県の人で兄弟でも親戚でもありません。以上の人達は国家試験頻出メンバー。佐賀県、岡山県の方は試験勉強のモチベーションとなったでしょうか？

あなたの県出身の福祉有名人を探し、「石碑を訪ねる旅」を企画する等々、様々な方法で楽しみながら知識を増やしていきましょう。

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【問題9の正解と解説】

- 1× 正しくは「高木憲次は、東京で肢体不自由児施設・整肢療護園や肢体不自由児の光明学校を設立した。」
- 2× 正しくは「家庭学校設立後に少年教護法が成立した。」留岡幸助の家庭学校設立は明治32年、少年教護法は

昭和8年、30年以上の時間差があります。

3× 正しくは「石井亮一は、濃尾地震の孤児救済に尽力し孤女学園を設立。その後渡米してサガンの治療教育を学び、滝乃川学園（初の精神薄弱児施設）に改称した。」

4× 正しくは「山室軍平は、日本の救世軍を設立し廃娼運動に貢献した。石井十次は、岡山孤児院を設立し、バーナードの影響を受けて小舎制を実践した。」

5○

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus

発信者： 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会